



**AERA**

**AERA dot.**

AERA3月3日発売号/AERA dot.3月

2025年3月 国際女性デー特集

自分らしく。

# はじめに

1988年に創刊したAERAは、創刊36周年を迎えました。  
創刊は、86年に男女雇用機会均等法が施行された直後です。

当時より、AERAは女性を応援し続け、仕事やライフステージを通して  
自己実現できる社会を目指し、報道を続けてまいりました。

女性は時代に翻弄されてきた存在だと感じます。  
時代によって、子どもを産むことを過剰に推奨されたり、社会進出がかっこいいと喧伝されたり、  
その両方を求められたり。

ただ、いまは「自分らしく」がキーワード。  
社会にも他の人にも縛られず、自分の生きやすさや自分らしい幸せを  
追求することができるようになりました。それはどんな人もそうです。  
女性が生きやすいことは男性も含むすべての人が生きやすく、  
多様性があることで組織や社会がしなやかに成長できる。

それを信じて、AERAは発信し続けます。

3月8日は「国際女性デー」。  
これを機会に、よりそのメッセージを込めた特集を展開したいと考えています。

# “AERA×女性”のこれまで

## AERA×女性



# 女性をめぐる 社会の変化、生き方を 記事にしてきたAERA

## 女性をめぐる 社会の動きと AERAが伝えた 女性の生き方

吹き出し内はAERAの目次などから抜粋。  
[ ]の数字は掲載号

育児休業法

徳仁皇太子(当時)と外交官の  
小和田雅子さんが婚約

労働者派遣法の改正により  
非正規の労働者が増加

ストーカー規制法

DV防止法  
小泉内閣で女性が  
過去最多5人入閣



紀宮さま(黒田清子さん)  
婚約



女性専用車両  
が拡大

「産む機械」で  
安倍内閣大騒動  
少子化戦略会議  
スタートの  
矢先に…  
結婚したいなら  
「婚活」のススメ  
就活するの、  
なぜしない

草食男子・肉食女子

「卵子老化」  
の不安と現実

NHKクローズアップ現代  
が「卵子の老化」を特集

1985年 男女雇用機会均等法、  
労働者派遣法、国連の  
女性差別撤廃条約批准

87 アグネス論争

88 **AERA  
創刊**

91 AERAが初めて  
女性目録の  
巻頭特集を組む

93 「夫が理解できない  
ラーメン離婚  
結婚一年前後で  
起きる助走なき事態」

96 それまでは政治、経済、  
国際問題が主だった

2000

01 「おなじ飯面」  
で女は闘う

03 30代以上、未婚、子なしを「女の負け犬」と  
定義した酒井順子さんのエッセー  
「負け犬の遠吠え」が  
ベストセラーに

04 ブランド婚  
より「わたし流」  
紀宮さまの  
夫選び  
「負け犬女」  
はどっちだ

05 地方出身女は損  
東京出身者との  
格差の現実  
負け犬の結婚  
勝ち犬の離婚

07 柳沢伯夫厚労相  
(当時)が「女性は  
産む機械」と発言

08 「婚活」が  
流行語に

09 女は学歴と  
年収が求められる  
婚活を勝ち抜く  
女性の条件

12 「働くママ」は  
偉いですか？  
「ママ札費」の  
微妙な空気

12

「マタハラ」が話題に

女性活躍推進法

過剰な  
配慮より評価を  
「資生堂ショック」  
で変わる女性  
の働き方  
8園全滅、  
再就職は？  
保育園に  
入れなくて、何が  
「1億総活躍」だ



#MeToo運動が世界に広がる

東京医科大学が  
一般入試で女子受験者を  
一律減点していたことが発覚



東京オリンピック  
パラリンピック  
眞子さまが  
小室圭さんと  
結婚

「プリンセス」と  
無意識バイアス  
教育現場から  
変えていく  
性と社会

子にも会社にも  
申し訳なくて  
社会の圧力と  
自身が内面化する  
母のしんどさ

14

15 子なし  
ハラズメント  
ママ社員への  
過剰な配慮も  
マタハラだ

女性  
管理職は  
孤独である  
「子ども=幸せ」  
の公式が  
息苦しい  
一生ヒラでは  
できない仕事がある  
結婚は  
コスバが悪い  
ひとりの寂しさ  
「普通」になる時代  
さえも代替可能

16 ブログ「保育園落ちた日本死ね!!!」  
「ワンオペ育児」が話題に

17

伊藤詩織さん  
インタビュー  
「私は声を上げ  
続ける」

18 とりあえず  
子は産むな  
女性医師たちを  
待ち受ける修羅場  
東京医大の闇  
時代遅れ体質と  
超ブラック労働  
9大学で判明した  
「医学部不適切入試」  
はなぜ起きたのか

21 男らしさに価値  
「速く高く強く」  
東京五輪で  
ジェンダー平等  
の実現は遠い  
眞子さまに  
笑ってほしい  
眞子さまと  
小室圭さんの  
結婚に思うこと

22

23 日本のジェンダーギャップ指数  
が対象の146カ国中125位  
(過去最低)

作家 金原ひとみさんの朝日新聞への寄稿  
「心なき育児ロボット/責任の重さと孤立感/  
苦しくて窒息しそう」が話題に

24

# 『AERA』 『AERA dot.』 で編集特集を実施

国際女性デーの近辺の号で、編集特集を実施しコンテンツを発信します。

2025年3月3日発売号

# AERA

巻頭特集実施予定



※展開イメージ：2024年3月に実施した特集を掲載しています。

2025年3月

# AERA dot.

スペシャルコンテンツ配信予定



『AERA dot.』 特集コーナーに  
「国際女性デー」を設置

「国際女性デー」  
特別コンテンツをラインナップ

※展開イメージ：2024年3月に実施した特集を掲載しています。

# 広告スペース & 料金

編集特集実施号に合わせての広告メニューをご用意いたしました。

AERA (2025年3月3日売)	AERA dot. (2025年3月)	料金 (グロス・税別)
4C4Pタイアップ	オリジナルタイアップ計2万PV保証 ※『AERA』タイアップ内容を転載/1か月間掲載/SNSブースト想定	500万円
4C2Pタイアップ	オリジナルタイアップ計1万PV保証 ※『AERA』タイアップ内容を転載/1か月間掲載/SNSブースト想定	350万円
4C2P純広	『AERA dot.』 PC & SP 記事中レクタングル枠計150万imp保証 (特集期間内想定/1週間~)	250万円
4C1P純広	『AERA dot.』 PC & SP 記事中レクタングル枠計100万imp保証 (特集期間内想定/1週間)	150万円

# <オプション> 国際女性デーにおける朝日新聞本紙での展開①

2024年3月8日の朝日新聞朝刊では国際女性デーを象徴する花・ミモザを題字にデザインしました。本紙記事では、政治・経済・文化・健康などさまざまな角度から、そして朝日新聞デジタルでは課題を象徴するキーワードを切り口に自分事化のきっかけとなるような報道を複層的に行いました。





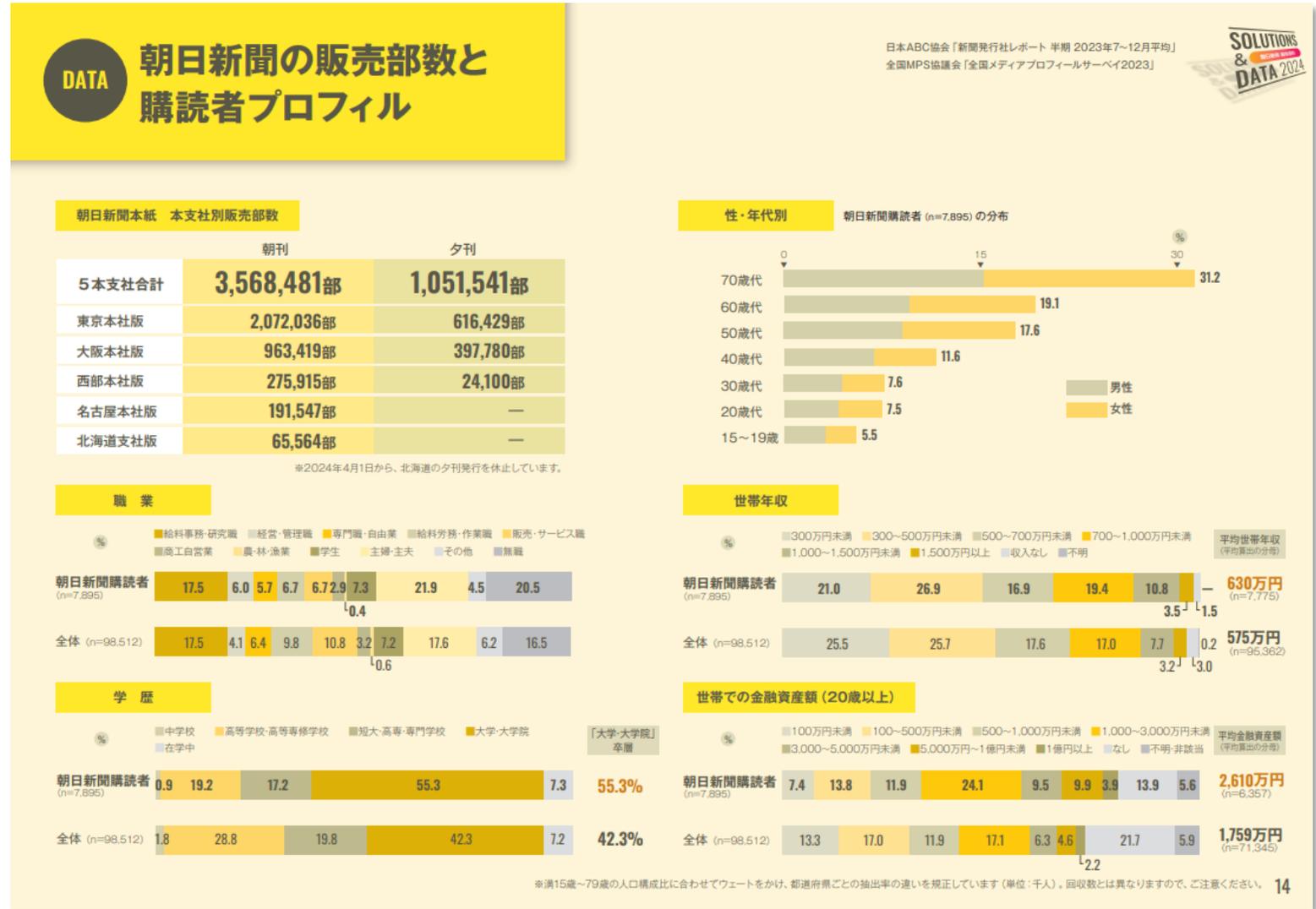
# <オプション> 国際女性デーにおける朝日新聞本紙での展開③

2025年3月8日の朝日新聞朝刊では「女性活躍推進」、「ジェンダー平等」に関する多数の記事を掲載し、幅広いステークホルダーにジブンゴト化を促します。

是非、貴社の取り組みを関連する記事と一緒に発信いただき、共感醸成・企業価値向上につなげていただければと考えております。

## ■ 掲載概要

- 掲載日:2025年3月8日(土)
- 掲載媒体:朝日新聞全国版朝刊
- 掲載段数:15段、5段など
- 掲載料金:プロジェクト担当者まで問い合わせください



# appendix

# 『AERA』媒体概要



毎週月曜発売  
(イレギュラーあり)

発行部数

51,333部

印刷証明付き発行部数(2024年4月～6月の平均印刷部数)

宅配部数

7,488部

ABC部数 2023年1月～6月調査

回読人数

6.5人

※MAGASCENE 2023年4月～6月調査

判型

A4判変型(中綴じ)

創刊

1988年5月

## 編集長メッセージ



AERA

編集長 木村恵子

1999年、朝日新聞社入社。

「ジュニアエラ」編集長、

「AERA with Kids」編集長を経て、

2022年より「AERA」編集長就任。2児の母。

1988年に創刊した『AERA』は今年、創刊35周年を迎えました。コア読者は「30～50代の都市で働く男女」。

政治、経済、事件、文化、芸能、スポーツから生き方、働き方までさまざまなテーマで、ほかのメディアにはない独自視点の記事を掲載しています。

それぞれのテーマのなかに生きる「人」を徹底的に取材し、その思いや問題意識を掘り下げています。『AERA』の一つの特徴に「女性」に支持されるメディアという点があります。

女性の働き方、ダイバーシティ、ジェンダー、子育てと仕事の両立、保活などのテーマにいち早く注目し、先進事例の紹介や、問題提起をしてきました。

その姿勢は、もちろん男性にも共感され、他の総合週刊誌にはない、男女バランスよく読んでいただける媒体になっています。

目指すのは、誠実で共感力の高いメディアです。今後も、現役世代の代弁者として発信を続けていきます。

そしてもちろん、写真家・蜷川実花が撮る旬な人物の表紙にも、ご注目ください。

# 『AERA dot.』媒体概要



月間PV

約 46,635,000

月間UU

約 11,165,000

(2024年4月~6月平均、Google Analytics調べ)

詳しい媒体資料は[こちら](#)

雑誌『AERA』の記事はもちろんのこと、『AERA dot.』独自のニュース記事や、著名人の方に執筆いただいているオリジナルコラムなどを掲載している総合ニュースサイトです。記事のジャンルは幅広く、ニュース、教育関連、エンタメ関連、スポーツ関連、ヘルス関連、ビジネス関連など多岐にわたるジャンルを展開しています。

## 編集長メッセージ



AERA dot.

編集長 鎌田倫子

宮城県生まれ。千葉大学文学部卒業。  
地方新聞の記者を経て、朝日新聞出版に入社。  
『AERA』の記者、『週刊朝日』と  
『AERA dot.』のデスクを務めたのち、現職。

『AERA dot.』は30代40代の現役世代に向けたサイトです。

『AERA』はラテン語で「時代」を意味します。Web上で、今の時代を作る世代をターゲットにし、ニュースはもちろん、キャリア形成や家族や子育ての問題、健康に関する情報も提供します。

例えば、ryuchellさんとpecoさんの「コラム」。テーマは「新しい家族のかたち」で、多様性について、その内実の難しさも含めて2人は発信してきました。

他にも、不妊治療や住宅購入、転職といったテーマの「特集」を展開。このように、身近な題材を独自の切り口で深掘りする特集や、新しい視点を提供するコラムを充実させていきます。

人生のターニングポイントにきたときに、「明日への一步を踏み出す背中を押し、足元を照らす。」現役世代の「相棒」として、そんなコンテンツを届けていきます。

# スケジュール

**タイアップ申込締切：2024年12月17日（火）**

オリエン	：2025年1月10日（金）までに
取材	：2025年1月21日（火）までに
初校展開	：2025年2月 3日（金）ごろ
ご確認/修正/広告審査	：2025年2月13日（木）までに
校了	：2025年2月19日（水）

純広告申込締切：2025年1月31日（金）

お申込み・お問い合わせ

株式会社朝日新聞出版      営業本部メディアビジネス部

TEL:03-5540-7806 / FAX:03-5540-7809

MAIL: [webAD@asahi.com](mailto:webAD@asahi.com)